

市民の目線でしっかりチェック

後期高齢者医療保険 今年度は資格証明書は発行せず

厚生常任委員会 平良木議員

厚生常任委員会では、健康福祉部と市民生活部に関係する決算審議などが行われ、担当の平良木議員は次の各点を指摘しました。

★福祉総合窓口センターでの対応改善

プライバシーに関わる相談の際に窓口での対応では不十分であることを指摘し、市当局は相談室で相談に応じるようにするなど、人権に配慮した対応を行うと答弁しました。

★障がい者リフォーム資金貸付制度

金融機関への預託という形で、実際の貸し付け事務は金融機関の裁量での貸し付けになっていることから、金融機関での状況を調べることを約束させました。

★訪問理美容サービス制度改正（利用者負担）

担を増額）により利用件数が激減。「もともと福祉事業の負担をなくすことが大事」と指摘。市は担当課として総括し、予算の中で検討すると答弁しました。

★ふれあいランチサービス

全市内で週5日体制が整ったことから、多くの地域では配食数が増加。現在は一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯が対象。「日中高齢者世帯」へのサービス拡大を求め、担当課で検討することを約束させました。

★市民健康診査・がん検診

昨年は国保以外の被保険者が受診券が届かないため「門前払い」という事態もありました。他の保険者への改善の働きかけも強め、

今年も受診できず、体制になっていないことを確認しました。

★特養待機者1229人

特別養護老人ホーム入所待機者は、7月1日現在1229人。うち要介護度4、5の方は604人。さらにそのうち一人暮らしは93人であることが明らかになりました。

★後期高齢者医療制度

保険料の収納率は現在99.8%。滞納があっても今年度いっぱい資格証の発行はしない方針であることが明らかになりました。

★保育料、低所得階層の滞納率が高い

滞納状況資料のわかりにくさを指摘、所得階層ごとの滞納率を示し、低所得ほど滞納が多いことを明らかに

日上越市の除雪「悪い」の声多く「改善を」と主張

建設企業常任委員会 樋口議員

建設企業常任委員会では、都市整備部とガス水道企業会計などの決算等が審議されました。担当の樋口議員が、指摘した点は次のとおりです。

★除雪に関する

13区に比べ日上越市は除雪状況が悪いのが実態です。通行車数が多いとはいえ、改善の余地がないのかと指摘。市は「オヘアレーターの技術向上、除雪車の出勤時間などを検討する」と答弁しました。

★市道路肩除草は市の責任で

市は基本的には市の責任で年2回実施している。沿線住民の協力が得られれば、協力していただいている。高齢化がすすんでいる地域は状況をみて、対応

する。」と答弁しました。

★県道路事業負担金は問題

県道整備は県の事業であり、費用も全額県が負担すべきものです。しかし新潟県は県内自治体に約20%を負担させています。負担なしの県もあることから、樋口議員は本城議員とともに、県に引き続き見直しを求めるようたどしました。市長会が検討委員会を作った対応を考えているとの答弁がありました。

★市単独道路新設改良事業を促進せよ

町内会などからの要望の強いこの事業の採択率は、平成20年度では16.4%であることが明らかに



事前研究に余念のない樋口議員



議案の事前研究を行う平良木議員

日本共産党上越市議員団ニュース

No. 199 2009年9月13日

連絡先 橋爪 法一 548-3628 (吉川区代石)
樋口 良子 544-6802 (中門前3)
上野 公悦 530-2203 (頸城区中柳町)
平良木 哲也 525-9096 (上中田)